



あたら、き大地



1985年3月号

NO7

「木青会館」の建設が着工される

かねてより地元住民等から要望のあった木材団地内の集会場がいよいよ木青会館としてスタートすることになり去る2月5日から建設工事がはじまった。工事は(株)葵建装[組合員]が請負い、先般2月1日、美原町長や地元町議員を招いて地鎮祭が行われ、来る3月2日には上棟式を行うことにしているが竣工は今年5月中旬の予定となっている。会館は現在のミハラ給食(協)の北側に建設され、工事費は1,455万円であるが、うち350万円は大阪府と美原町より補助金が交付され、残額を当組合と地区住民とが折半で負担することになっている。



(木青会館地鎮祭)

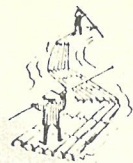
会館建設後は地区の住民や事業所の各種会合のほか文化教室、リクリエーションなど広範囲に利用できることになり、地域ぐるみの有効な施設として役立つものと期待されている。



“木材利用普及研修センターの愛称が決る”

建築中の『木材利用普及研修センター』の愛称が、この2月、林野庁の一般募集により全国統一名称としてウッドリーム〇〇、……WOOD(木)とDREAM(夢)の合成語……と決定されました。当組合の場合は、『ウッドリーム大阪』と命名されることになり、業界の夢と希望を託した当センターにふさわしい名前が決まったところで、いよいよ完成を待つのみとなりました。

【理事会の議事録から】



★ 団地内工場用土地の評価替(担保設定許容額の増額)について

団地内の工場用土地に対する担保設定許容額を現在 3、3㎡当り 22 万円と決めているが、最近の時価相場を勘案して、今回これを 24 万円に増額(3、3㎡当り 2 万円増額)することとした。これによって現在のプロパー借入枠 18 万円(3、3㎡当り)又は組合転貸枠 4 万円(同)のいずれかの枠に対し、各社の希望に沿って 2 万円の上乗せを認めることとした。

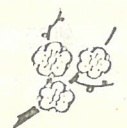


★ 簡易郵便局の設置について

一昨年来、関係筋に陳情を続けてきた当団地内の郵便局設置について、去る 1 月 19 日付けで、ようやく近畿郵政局より簡易郵便局設置の承認があった。設置場所は組合事務所建物に隣接した西側約 20 坪の敷地で、業務の運営は組合が当ることになるが、建物の建設計画や具体的な運営計画については早急に検討を進めていくこととなった。なお開設後の業務運営を円滑に行い、受入体制を整えるための参考資料として、団地内の事業所及び住民を対象に郵便局の利用に関するアンケート調査を実施することとした。

★ 組合所有の遊休土地(A グランド)の賃貸について

かねてより懸案の組合所有地(A グランド) 1、661 坪の有効利用について、このたび同土地を(株)ジョイフル朝日[組合員霜寅銘木(株)の姉妹会社]に賃貸し、DIY 店として利用することが決った。賃貸条件も決定し、近く最終契約がかわされる。なおこの DIY 店はいわゆる大規模小売店舗に該当するため、関係機関より店舗設置の承認が必要であり、それまで約 1、5~2 年の期間を要することになる。



★ 木青会館の建設について

当会館建設のために工事入札参加のあった共和ハウジング(株)、小高建設(株)、(株)葵建装、近畿建設(株)、(株)山形工務店それに村本建設(株)の 6 社の中で最低入札となった(株)葵建装が落札し、工事の請負業者に指名された。なお詳細については別項を参照されたい。

★ 各組合員の創立記念日における祝品の贈呈について

昨年来、組合員各社の創立記念日には組合事務所前に各々の社旗を掲揚しているが、今回それと併せてお祝いのしるしに粗品(お酒)を贈呈することにした。(今年 2 月 1 日から実施)



《組合員企業の紹介シリーズ》 『うちの会社』



【その 6】 協同組合大阪ツキ板センター 山下 光夫

当組合は、昭和 29 年 6 月 大阪市西成区津守において創立、ツキ板製造の加工工場を設けて発足いたしました。昭和 45 年に当団地に移転、翌 46 年より操業を開始と同時に流通部門に進出のため、第 1 回のツキ板展示即売会を行い、以来ツキ板の製造と販売の両方を進めてきました。当時、展示即売会は 1 年間に 8 回実施してありまして、当日は全国各地から業者が相つぎ非常に盛況を呈してありました。大阪はむろん全国においても流通市場として高く評価されておりましたが、昭和 48 年のオイルショック以来、当組合の体質改善のため合理化に踏切り、昭和 50 年に製造部門を閉鎖し、以後共同販売による流通部門 1 本にしぼり現在に至っております。現在共同販売のための展示即売会は 1 年に 7 回当団地にて実施いたしております。当日は入札販売と指値販売の両建を実施いたしており、非常に好評を得ており、会場はいつも活気が溢れております。出品者は 10 数人で内地材ならびに外地材のいずれも優れたツキ板を毎回出品いたしておりますので、精々ご利用下さいませようお願い申し上げます。

“中川理事長の出版記念祝賀会を開催”

本紙新年号で紹介した中川理事長の出版記念祝賀会が去る 1 月 30 日、大阪市のホテルプラザにおいて業界内外の約 250 人の出席のもとに晴れやかに開催された。



(中川理事長 出版記念祝賀会)

この祝賀会は大阪の木材業界を中心とする 86 人の発起人(代表、浅野 寛氏)によって開かれたもので、出席者のうち、大阪営林局長をはじめ来賓多数から祝辞がのべられ、とくに今回の出版図書(木材流通とは一)が木材流通の専門書として大変好評であること、また木材業界の川下作戦の展開を考えるうえで必読の本であるなどの賛辞が相ついで寄せられ、祝賀会は盛況裡に行われた。

“木栄会” だより



☆ 組合員工場の見学会を実施

既報(1月号)のとおり、第 2 回の団地内組合員工場の見学会を 2 月 19 日(火)に実施し、会員 23 名が参加した。

この見学会は同会情報交流委員会の企画で、今回は(株)ヤマゲン、(株)電産、(株)一柳ケース製作所、成瀬特殊木材(株)並びに みどりハウジング(株)の 5 社を対象に約 2 時間で見学した。お互いに各社の生産工程や製品内容等について理解を深め、情報交流の一助となった。

『ちょっと一言』

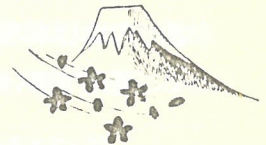
…ハイテク時代に対応して異業種の交流を…

山田製材(有) 高島 頼次



私の反省 昨年来より「ハイテク」と云う言葉が頻繁にきかれるようになりました。また、本年は今までと全く違った新しい時代の幕明けだとも言われています。このような社会の変化についても多少知ってるつもりですが、単なる常識・知識・程度としか考えてなく、私達には全く関係のない遠い遠い出来事のように思っていました。様子が変だと気付いた時は既に手遅れ、背後から忍びよる大波にびっくり、今にも呑み込まれそうです。社会の技術の進歩と私達の歩みの調和が、今ほど痛切に感ぜられる時はありません。遅まきながら私達並びに私達の製品と「ハイテク」との関り合いを真剣に考える時が来ました。単なる情報としてではなく深く深く掘り下げるべきだと思います。私達の業界のみならず、他の業界の動向にも是非眼を向けるべきです。「異業種交流」これ以外に生き延びる道はないものと思います。

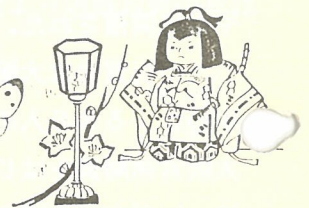
〔組合事務局だより〕



§. 木材産業拠点整備緊急対策事業について

当木材団地は昨年11月、木材産業拠点整備地域に指定され、拠点整備緊急対策事業として組合員が事業体の集積や生産方式の合理化を実施する場合、その借入金に対して利子が補給(年3~4%)されることになっています。組合員の皆様の中で合理化設備を導入する場合や、新製品を製造販売するに当たって地域内外の原材料供給者、高次加工業者、木材流通業者等と業務提携を行う場合(運転資金のみ)などがございましたらどうぞこの制度をご利用下さい。……………(申込みは組合事務局です。)

なお詳細は組合事務局宛お問い合わせ下さい。



〔編集メモ〕

本紙“あたらしき大地”も発刊以来、はや1年が経過しました。今後も趣向をこらし、皆様からより親しまれる情報紙となりますよう一段と努力したいと思いますので一層お引立てくださるようよろしくお願いいたします。(編集部一同)

企業を守る損害保険のことなら

(株) 大阪木材団地サービスへ

各種 火災、自動車、傷害保険を取り扱っております。

南河内郡美原町菅生 688-106 大阪木材工場団地協同組合内 ☎ 0723-61-2670